

この人紹介

被災地 陸前高田市の発展のために

種坂奈保子さん

今年3月11日、発生から7年を迎えた東日本大震災の被災地 岩手県陸前高田市で、大口町さつきヶ丘（大口西小学校・大口北部中学校）出身の種坂奈保子さん（31）が、住民が

主役となって活躍している地域をつくる「NPO 法人陸前高田まちづくり協働センター」の職員としてまちの活性化に携わる仕事をされています。

同センターは、『地域に住む人たちみんなで、今できることから一つ一つ力を合わせて復興に向かっていく』ことを目指し、地域づくりや市民活動の支援をおこなうため設立されました。

種坂さんは震災後すぐに宮城県石巻市へボランティアに通い、その後、陸前高田市でお仕事をされることになりました。

きっかけは、「学生の頃、日本中を一人旅をしていて、震災前に陸前高田市に立ち寄ったことです。『けんか七夕』というお祭りを見に行った帰り道、地元の人たちにバーベキューに誘っていただき、とても良くしてもらいました。その後震災があり、『あのときの方々に恩返ししたい』と思い陸前高田市にきました。

京都市立芸術大学卒業後、名古屋で店舗デザイナーの仕事をしていたので、その経験を活かし仮設商店



街の仕事につきましました。現在は同センターから「交流施設ほんまるの家」に向き、「陸前高田市まちなか広場」で地域の皆さんが集い、買



▲まちを一緒に盛り上げる市内の商業者のみなさんと種坂さん（左上）

い物をしてもらうため、さまざまなイベント企画や店舗マップづくりをしています」

まちを10m以上かさ上げし、新しい中心市街地ができて1年余、震災から市民のみなさんの住居や生活圏内が大きく変わった陸前高田市。人や地域のつながりは、安心した生活につながり、そこに人が集まればビジネスも生まれる。種坂さんは、そんな復興の基盤になっていく、まちづくりのサポートをしています。復興に向かうまちを応援し、今、私たちができることは現地に行って復興の様子を肌で感じることはないでしょうか。

「陸前高田市は、日々変わる町並みから復興に向かう市民の頑張りを感じられ、愛着が湧く場所です。沢山の温泉や壮大な風景、美味しいものもたくさんあるので、ぜひ遊びに来てください」と、種坂さん。



旅行や支援のご相談など、お気軽にご連絡ください。

陸前高田まちづくり協働センター

☎ 0192-47-4776

検索

交流施設 ほんまるの家

☎ 0192-47-3389

検索

大口町には宿泊助成をおこなうリフレッシュリゾート制度があります

対象施設	助成金額
岩手県 遠野市観光協会加盟施設	一泊のみ 2,500円 (上記に合わせて航空運賃補助 2,500円) ※名古屋小牧空港発着いわて花巻空港便のみ対象 (ただし、左記施設をご利用時のみ)。
宮城県 南三陸町観光協会加盟施設	問合せ先 生涯学習課 ☎ 95-3155